



おがわ ともり
小川 智紀

認定NPO法人STスポーツ横浜 理事長、社会福祉士、社会教育士。1999年より芸術普及活動の企画制作に携わる。2004年、STスポーツ横浜の地域連携事業立ち上げに参画。2014年より現職。現在、アートの現場と学校現場をつなぐ横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局、民間の芸術文化活動を支援するヨコハマアートサイト事務局を行政などと協働で担当。またNPO法人アートNPOリンク理事・事務局長として、厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業の連携事務局を担当。NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク理事。NPO法人子どもと文化全国フォーラム理事。「子ども白書」編集委員。愛知大学、跡見学園女子大学非常勤講師。



わかばやし ともこ
若林 朋子

プロジェクト・コーディネーター／立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授。デザイン会社勤務を経て、英国で文化政策とアートマネジメントを学ぶ。1999～2013年（公社）企業メセナ協議会勤務。プログラム・オフィサーとして企業が行う文化活動の推進と芸術支援の環境整備に従事（ネットTAMの企画・運営等）。2013年よりフリーランス。事業コーディネート、芸術環境の整備支援、調査研究、助成プログラムの設計、研修、自治体の文化政策やNPOの運営支援等に取り組む。2016年より立教大学大学院特任教員。社会デザインの領域で文化、アートの可能性を探る。



ひろい たくじ
広石 拓司

エンバブリック代表取締役、ソーシャル・プロジェクト・プロデューサー。東京大学大学院薬学系修士課程修了。シンクタンク、NPO法人ETIC.における社会起業家育成を経て、2008年株式会社エンバブリックを創業。「思いのある誰もが動き出せ、新しい仕事を生み出せる社会」を目指し、地域・企業・行政など多様な主体の協働による社会課題解決型事業の企画・立ち上げ・担い手育成・実行支援に多数携わる。著作に「ソーシャルプロジェクトを成功に導く12ステップ」など多数。慶應義塾大学総合政策学部、立教大学経営学部などの非常勤講師も務める。Podcast「empubli」の一語一歩」も配信中。https://empubli.jp



いしい ゆうた
石井 裕太

PRコンサルタント。1979年生まれ。演劇ユニット・ボツドールの広報を経て、2001年に電通PRコンサルティングに入社。以来、企業・行政・NPOなど様々な組織の戦略パートナーとして、社会（Public）との関係構築（Relations）を支援し、それぞれのビジョン実現に従事。また、対話の場づくりやワークショップの開発を通して、ビジョン策定やイノベーション創出など幅広く取り組む。副業では、「だれもがビジョンを探求できる世界をつくる」をモットーに、まちづくりに携わる。公共政策修士。2022年度キャパシティビルディング講座修了生。（参考記事）https://dentsu-ho.com/articles/9029



いしい けんすけ
石井 健介

ブラインド・コミュニケーター。1979年生まれ。アパレル/インテリア業界を経てフリーランスの営業・PRとして活動。2016年の4月、一夜にしてほぼ全ての視力を失うも、軽やかにしなやかに社会復帰。2021年からブラインド・コミュニケーターとしての活動をスタート。見える世界と見えない世界をポップに繋ぐためのワークショップ/講演活動をしている。TBS Podcast「見えないわたしの、聞けば見えてくるラジオ」パーソナリティ。著書「見えない世界で見えてきたこと」（光文社）https://kensukeishii.com/



みなもと ゆりこ
源 由理子

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授。国際協力機構（JICA）等を経て現職。専門は、評価論、社会開発論。改善・変革のための評価の活用をテーマとし、政策・事業の評価手法、自治体、NPO等の評価制度構築、関係者による参加型（協働型・協創型）評価に関する研究・実践を積む。近年は特に、芸術文化領域における「対話」をとおして価値を生み出す評価のあり方に関心を持つ。主著に「プログラム評価ハンドブック～社会課題解決に向けた評価方法の基礎・応用」（共編著、晃洋書房、2020年）、「参加型評価～改善と変革のための評価の実践」（編著、晃洋書房、2016）など。日本評価学会会長。東京藝術大学芸術未来研究場客員教授。



うえだ かなよ
上田 假奈代

詩人・詩業家。1969年・吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめる。2001年「ことばを人生の味方に、詩業家宣言」。2003年、大阪・新世界で喫茶店のふりをしたアートNPO「コルム」を立ち上げ、釜ヶ崎に移転し、2012年「釜ヶ崎芸術大学」開講。2016年ゲストハウスのふりもはじめ、釜ヶ崎のおじさんたちとの井戸掘りなど、あの手この手で地域との協働をはかる。大阪公立大学都市科学・防災研究センター研究員、NPO法人こえとことばとこころの部屋（コルム）代表理事。堺アーツカウンシル プログラム・ディレクター。大手前大学非常勤講師。



なかむら みほ
中村 美帆

青山学院大学総合文化政策学部 准教授。東京大学法学部卒、同大学院人文社会系研究科文化資源学専攻（文化経営学）博士課程単位取得満期退学。博士（文学）。静岡文化芸術大学文化政策学部准教授を経て、2022年4月より現職。主著に『文化的に生きる権利－文化政策研究からみた憲法第二十五条の可能性』（春風社、2021年）、『法から学ぶ文化政策』（共著、有斐閣、2021年）、『自治体文化行政レッスン55』（共著、美学出版、2022年）など。

Capacity Building Program 2025



2025（令和7）

8.22^金－2.6^金

2026（令和8）

東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」
キャパシティビルディング講座2025
～創造し続けていくために。芸術文化創造活動のための道すじを“磨く”～

芸術文化と社会の関係性を
広い視座で捉え、
実践者に必要な思考力や
スキルを磨く連続講座。
一部アーカイブ動画あり！

※公募選考による受講生を対象とした対面の連続講座が基本ですが、
一部の講座はアーカイブ動画を公開します。どなたでもご覧いただけます。

小川智紀氏、若林朋子氏をファシリテーター／アドバイザーに迎え、講座内容に応じたゲスト講師を招き、以下のプログラムを構成します※1						
連続講座 全6回	+	中間 ディスカッション 1回	+	課題解決／価値創造戦略レポートの 最終発表会 1回	+	個別相談 1回
※1 プログラムは都合により変更になる場合がございますので予めご了承ください。				講座を通して得た知見をふまえて、受講生自らの活動の課題解決／価値創造に資する戦略レポート作成に約1カ月の期間に取り組み、発表します。		レポート作成期間中に受講生の課題や問題意識に応じるファシリテーター／アドバイザーとの個別相談の回を2026年1月22日(木)に設けます。
プログラム	日時	講師	テーマ・内容			
 第1回	2025. 8.22 [金] 16:00～21:00	広石 拓司	共感を呼び、支援を引き出すためのヴィジョン・ミッション活用と非営利組織経営の手法を磨く 前半(約1時間) ●プログラム・運営チーム紹介、自己紹介プレゼンテーション ●イントロダクション 後半(約4時間) ●ヴィジョン・ミッションを活動の力として活かすには何が大切か考える ●共感を活動力につなげる組織運営・経営の考え方を学ぶ			
 第2回	2025. 9.10 [水] 17:00～19:30	石井 裕太 石井 健介	ヴィジョン・パーパスの実装・定着 ●活動の意義や目的の言語化を通じたヴィジョン・パーパスの実装・定着 ●ブラインド・コミュニケーションの手法をとり入れた、未来を探索するワークショッププログラム「ビジョン・クエスト」の実践			
 第3回 一部アーカイブ 動画あり	2025. 9.24 [水] 17:00～19:30	源 由理子	活動の意義を伝える評価軸を磨く ●評価の考え方、多様な評価の方法論を学ぶ ●芸術文化事業の“社会的価値”を引き出す評価について考える ●評価軸を持つことで組織・活動強化につながる道筋を探索			
 第4回	2025. 10.22 [水] 17:00～19:30	源 由理子	関係者参加型の評価をとおして改善・変革していく術を磨く ●参加型評価ワークショップの実践 ●ロジックモデル、セオリーオブチェンジ等のツールを使った議論 ●ワークショップを通じ、取組の継続的改善や社会変革につながる評価的思考について学ぶ			
	2025. 11.19 [水] 17:00～19:30	小川 智紀 若林 朋子	中間ディスカッション ●これまでの講義をふまえ、自身の思考の整理、活動の周りのリソースの棚卸し、課題の抽出と解決の糸口をあらためて探る ●ディスカッション等を通して新しい気づき等を共有する			
 第5回 一部アーカイブ 動画あり	2025. 12.15 [月] 17:00～19:30	上田 假奈代	実践者との対話:現場のわりきれなさ、言葉にできなさ、とてつもないおもしろさを、どう表すのか／それらがどう伝わるのか ●社会の最先端から眼差し、なにかを実装する ●○○○のふりをしながら活動する ●事業・活動の継承について考える			
 第6回 一部アーカイブ 動画あり	2026. 1.7 [水] 17:00～19:30	中村 美帆	「文化的な権利」を端緒に芸術文化と社会の相関を捉え直す技を磨く～社会における「文化」「芸術」とは？ ●文化に関わることを「人権」として認めるとはどういうことが、人権の歴史から考える ●誰一人取り残さない／あらゆる人々にとっての芸術文化の意味や、「文化権」という切り口からみた公共文化政策について考察し、芸術文化の可能性について広く考え直す			
	2026. 1.22 [木] 17:00～19:30	小川 智紀 若林 朋子	個別相談 ●受講生の創造活動やその環境にまつわる課題や問題意識に対する取り組み方について、ファシリテーター／アドバイザーとの面談を通して具体的な解決策や立案、そのための工程を探索する			
	2026. 2.6 [金] 17:00～21:00	小川 智紀 若林 朋子	課題解決／価値創造戦略レポートの最終発表会 ●創造活動における課題解決の具体的な実装方法を提案、相互に思考を共有する。			

芸術文化と社会の関係性を広い視座で捉え、受講生が取り組む課題解決や新たな価値創造、目標達成に必要な思考力やスキルを多面的に磨く連続講座です。
レクチャー、ワークショップ、ディスカッション、面談などを通じて、講師、ファシリテーター／アドバイザー、受講生が対話し、分野横断的なネットワーク構築を支援しながら、受講生自らの事業や企画の実現に向けた場を創出します。
AIの普及や気候変動、国際情勢の混迷等、社会の大きな変容の中で、人間・社会・自然・歴史から立ち上がる表現・創造活動のあり方をどのように眼差し、社会と接続していくのか、新たな実践が期待されています。このような時代の転換期における芸術文化の多様な担い手同士が学びあいながら、知識、スキル、思考力を磨くキャパシティビルディング講座を今年度も開講します。

受講生募集要項

創造環境全体の向上に取り組む方や「50年先のヴィジョンを描いて実践したい」といったさまざまな創造の担い手を対象に、受講生同士や各講座の講師、及びファシリテーター／アドバイザーと芸術文化の新たな可能性を共に探求し、相互に成長し研鑽する非公開型でインテンシブな学び合いの場を提供します。

募集人数	16名程度	受講料	無料	会 期	2025年(令和7年)8月22日(金)～2026年(令和8年)2月6日(金)
会 場	アーツカウンシル東京(東京都千代田区九段北4-1-28)				
対 象	芸術文化領域(主に非営利の活動)において5年以上の活動経験のある芸術文化従事者 セルフマネージメントのアーティスト・表現者、制作者、プロデューサー、技術者、キュレーター、コーディネーター、 アートマネージャー、芸術団体・アートNPOの職員、芸術文化支援団体のプログラム・オフィサー、行政・企業等の文化担当者、研究者等(分野不問)				

応募資格

本講座の趣旨を理解し、主に東京を活動拠点としている方で、次の全てに該当すること。
①自らの活動の改善に向けて、課題解決策を立案し、具体的な取組を行う意思があること。
②芸術文化創造環境の発展に貢献する意欲があること。③各講座及び最終発表会に出席し、講師及び他の受講生と積極的に交流や議論ができること。※1 ④課題解決／価値創造戦略レポート作成と提出が可能なこと。※2 ⑤受講後も芸術文化の振興に資する活動に携わる意思があり、将来アートノトやアーツカウンシル東京が行うアンケート調査等に協力できること。⑥本事業の広報活動への協力が可能であること。※3

※1 本講座の全プログラムの受講が可能であることを前提とします。出席やレポート提出に対する報酬、交通費等の支給はありません。
※2 再編集を行い、ウェブサイト・報告書等で公開します。受講生が作成したレポート等成果物の著作権は公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京に帰属します。 ※3 受講生一覧や写真、各回の講座の様子等をアートノトやアーツカウンシル東京のウェブサイト、報告書等に掲載いたします。

応募方法

アートノト公式ウェブサイトから応募フォームにアクセスいただき、以下の必要事項を入力してください。

※顔写真貼付・ショートレポート記述は所定用紙あり

必要事項 ☒ 氏名、年齢、E-mailアドレス、連絡先電話番号、
現職・肩書、学歴、職歴、免許・資格等、
活動場所、活動形態、活動分野、職種等、顔写真※1

☒ ショートレポート(800～1000字) ※字数厳守

自らの活動について、客観的な視点を踏まえながら、以下の①～⑦を盛り込んで記述してください。
①活動概要、②マネージメント体制、③目的・目標、④現時点の成果(外的評価含む)、⑤現時点で感じている課題・問題意識、⑥課題解決／価値創造のために自らが考えている糸口、⑦本講座の受講動機※2

※1 提供いただいた個人情報については、公益財団法人東京都歴史文化財団のプライバシーポリシーに則って適切に管理し、本事業の運営のためにアーツカウンシル東京及び運営事務局が利用いたします。 ※2 受講生となった方のショートレポートは、受講の際に講座内で講師及び他の受講生と共有する機会がある旨を予めご了承ください。

応募説明会(オンライン)

講座概要や応募要件について紹介します。
日時：2025年7月10日(木) 19:00～20:00 詳細はアートノト公式ウェブサイトをご確認ください。

応募期間

2025年6月25日(水)から7月25日(金) 17:00まで

選考について

アーツカウンシル東京が定める選考委員会による書類審査を行います。選考結果は、採否にかかわらず2025年8月6日(水)頃までに、E-mailにて本人に通知します。なお、選考結果についての問合せには応じません。また、アートノト及びアーツカウンシル東京公式ウェブサイトにて、受講生の一覧を掲載する予定です。予めご了承ください。

お問い合わせ先

キャパシティビルディング講座 運営事務局(特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク)
電話: 080-8395-6124(平日10:00-18:00) E-mail: act-artsacademy@onpam.net URL: www.onpam.net

手話通訳
—
日本語
字幕あり

申込み
不要

一部アーカイブ動画あり

第3、5、6回講座の一部は講座終了後、編集が完了次第
アートノト公式YouTubeチャンネルで公開し、どなたでもご覧いただけます。

ONLINE

